

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2026 年 5 月 13 日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企 業 ・ 団 体 名	東ソー物流株式会社
所 在 地	〒746-0022 山口県周南市野村一丁目 23 番 15 号
代 表 者 役 職 ・ 氏 名	代表取締役 兼 社長執行役員 稲毛 康二
担 当 者 連 絡 先	電 話：0834-63-0077 (担当：CSR 推進室 原田)
	メー ル：sharada@tosoh-logi.co.jp
ウ ェ ブ サ イ ト U R L	https://www.tosoh-logi.co.jp

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

当社は、1951 年に東洋曹達株式会社（現、東ソー株式会社）の 100%出資により物流の専門会社として設立、化学品をメインとした港湾運送事業及び海上運送・陸上運送事業等を営む総合物流会社です。	
本社地区（徳山下松港）での港湾運送事業をはじめ、国内主要地区 12 か所に支社・営業所等を設け、全国に物流網を構築しています。また、東ソー(株)グループの生産・販売活動がグローバル化する中、シンガポール支店をはじめ、国内外 11 のグループ会社及び海外パートナーとも連携し「国内外一貫物流」を実現させ、多種多様なニーズに対応しています。	

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
✓環境 □社会 □経済	システム化によるペーパーレスの推進	OA用紙使用量 2020 年度比 20%削減
□環境 ✓社会 □経済	各種補助制度の導入による健康経営の推進	自社健康活動への参加率を 70%以上にする
✓環境 □社会 ✓経済	省エネの推進、代替エネルギーの導入	フォークリフト (3.5t 以下) の電動化率を 30%以上にする

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	『具体的な取組』 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している				4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる			3														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している				4	5.5			8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している					5.5			8.5		10.2 10.3							

カ テ ゴ リ	チェック項目	『具体的な取組』 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	・スポーツクラブ(ジム)の会費補助による健康増進 ・人間ドック費用補助の推進(本人+配偶者) ・インフルエンザワクチン接種の費用補助 ・人間ドック受診休暇の付与による健康増進			3					8									
11	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	・ペーパーレス化/システム化による事務作業の効率化等による3Rの推進 ・木製パレットの3Rの推進											11.6	12.4 12.5		14.1			
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	・全社省エネ目標及び部門省エネテーマの設定 ・下記取組により省エネを推進 ①バイオ燃料の導入、EV/ハイブリッド車両の導入、省エネ機器(LED照明、換気設備等)の導入 ②モーダルシフト、省エネ運航、エコ運転の導入 ③昼休憩時の電気消灯等の省エネ活動							7.3						13				
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	・下記取組により温室効果ガス排出量削減を推進 ①バイオ燃料の導入、EV/ハイブリッド車両の導入、省エネ機器(LED照明、換気設備等)の導入 ②モーダルシフト、省エネ運航、エコ運転の導入 ③昼休憩時の電気消灯等の省エネ活動							7.2 7.3					12.4	13.3				
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	・フロン排出抑制法に則して第一種特定製品を適切に管理 ・がん原性物質取扱い職場での取扱い作業時間を記録管理 ・人体に有害な化学物質(ジクロロメタン)を含む塗料、剥離剤の使用を廃止し、有害な化学物質を含まない剥離剤、剥離剤に代わる剥離手法を検討 ・リスクアセスメント対象物質を取扱う職場に化学物質管理者、及び保護具着用管理責任者を選任し、化学物質の取扱い時の管理を強化			3.9			6.3					11.6	12.4					
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している							6.6									15		
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	・インフラ整備に伴う節水推進等による水資源の保護						6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している				3.9			6	7					12	13.3	14	15		
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している													12.6					
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	・太陽光発電設備の導入推進							7.2						13				

カ テ ゴ リ	チェック項目	『具体的な取組』 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
2 3 4 5	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	・内部監査により、リスクを特定、評価を実施															16		
	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	・「マテリアリティ・KPI」を策定、取組みを推進															16		
	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	・事故、災害によるシステムダウン時のBCPを策定 ・安否確認システムの運用									9		11		13.1		16		
	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている									8	9							17	

上記以外で設定した取組項目

[illegible]